

令和4年度奈良県計画に関する 事後評価

令和7年1月
奈良県

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

3. 事業の実施状況

令和4年度奈良県計画に規定した事業について、令和5年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1-2. 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業	
事業名	【No. 1 (医療分)】 単独支援給付金支給事業	【総事業費】 0 千円
事業の対象となる区域	全圏域	
事業の実施主体	奈良県の医療機関	
事業の期間	令和4年4月1日～令和6年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	中長期的な人口減少・高齢化の進行を見据えつつ、地域の実情に応じた質の高い効率的な医療提供体制の構築が必要	
事業の内容 (当初計画)	医療機関が、地域の関係者間の合意の上、奈良県地域医療構想に即した病床機能再編の実施に伴い、減少する病床に応じた給付金を支給する。	
アウトプット指標 (当初の目標値)	対象となる医療機関数 1 医療機関	
アウトプット指標 (達成値)	令和5年度においては、当該給付金の申請はなかった。	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： なし	
	<p>(1) 事業の有効性 地域医療構想の実現に向け、過剰な病床の削減を図れる。</p> <p>(2) 事業の効率性 給付金のため、スムーズな支給・削減が可能。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【No.48 (介護分)】 介護人材確保対策推進補助事業 (介護施設、介護事業所への出前研修の支援事業)	【総事業費】 167 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	民間団体	
事業の期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築を図る。 アウトカム指標： 介護従事者（常勤換算）の増加 年 658 人	
事業の内容（当初計画）	地域密着型サービス事業所の職員を対象に、認知症ケア及び次期介護報酬改定をテーマに研修を実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	地域密着型サービス事業所の職員を対象に研修の実施 3 回 90 人（予定）（事業公募）	
アウトプット指標（達成値）	地域密着型サービス事業所の職員を対象に学習会、講演会を実施	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： 観察できた →参加者数：213 人	
	<p>（1）事業の有効性 本事業により 213 名が学習会、講演に参加し、認知症ケアの理解が深まった。</p> <p>（2）事業の効率性 民間団体への補助により、効率的に事業を実施することができた。</p>	
その他		